

全国及び岡山県学力・学習状況調査結果の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p><成果> ○国語科では、条件に合わせて読むことはやや正答率がよい。 ○国語科では、特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」の正答率が高く、習った漢字やローマ字等言語についての理解もよい。 ○算数科では、「図形」「測定」の分野の正答率が高く、公式を使った面積の求積や速度の問題を解いたり、グラフから必要な数値を正確に読み取ったりすることができる。 ○問題に意欲的に取り組むことができ、無回答率が低い。</p> <p><課題> ▲国語科では、条件に合わせて書いたり、自分の考えを根拠を基に書いたりすることがやや苦手である。 ▲問題の趣旨に合わせて記述することができにくい傾向が、やや見られる。 ▲算数科では、必要な数量を選んで求め方を考えたり、説明を書いたりすることがやや苦手である。 ▲時間配分を意識して問題に取り組むことが難しい。</p>	<p><成果> ○規則正しい生活習慣が身に付いている児童が多い。(朝ごはん、起床・就寝時刻) ○家庭での学習習慣が身に付いている児童が多い。(新型コロナウイルス感染拡大期間も同様。) ○家庭での会話が長く、メディアの約束などを家庭でしっかりと話し合っている。 ○自分で計画して家庭学習に取り組んでいる児童が多い。</p> <p><課題> ▲自己肯定感がやや低い。 ▲自分の考えが分かりやすく伝わるような資料や文章、話の組み立てなどを工夫できていると思っている児童が少ない。</p>

改 善 策

学 校 で の 取 組

- ①学習規律の徹底
 - ・心構え(チャイムの合図を守る)・身構え(姿勢「ピン・ピタ・ゲー」)・物構え(忘れ物をなくす)
 - ・教室環境を整える ・話し方・聴き方・発表の仕方(ソーシャルスキルトレーニング)
- ②分かる授業づくり
 - ・「金小小学びのスタンダード」の実践 ・板書の工夫 ・ノート指導の充実
- ③基礎学力の定着のための取組
 - ・朝学習での「タブレットドリル」の活用
 - ・月1回の「家庭学習がんばり週間」の充実
- ④算数科を研究教科とした「考える力・伝え合う力」の育成
 - ・考えを図や式や言葉で表し、根拠をはっきりさせて説明を書くこと
 - ・ペアトークやグループ・全体での話し合いで、自分の言葉で考えを伝えること
 - ・「振り返り」の時間の工夫と充実

中 学 校 区 で の 取 組

- 中学校の定期試験期間に合わせて家庭学習強化週間(「家庭学習がんばりカード」)を実施して、学習習慣・読書習慣の確立を図る。
- 生活習慣強化週間「早ね!早おき!朝ごはん!金光 学力アップ大作戦」を行い、メディアコントロール力の伸長を含めた生活習慣の改善・定着を図る。
- 金光地区学校運営協議会の目指す子ども像「広い視野と思いやりの心をもった、心身共に元気で明るく前向きな子」を設定し、共通理解のもと各教科・領域において連続した取組を実践する。

家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い

- 「早寝・早起き・朝ご飯 金光!」に毎日親子で取り組み、望ましい生活習慣を身に付けていきましょう。
- ・「10分×学年+10分」を目安に学習習慣をつけてください。「家庭学習の手引き」を活用して、①宿題② 自主学習1(授業の復習や予習)③ 自主学習2(学習テーマは自由)家庭学習の仕方についてアドバイスや励ましをお願いします。
- 親子で読書に親しみましょう。